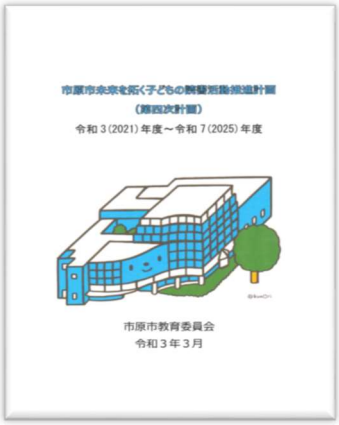
市原市立中央図書館報　第130号

こすもす

発行日：令和３年７月１日
発行者：市原市更級５丁目1-51
市原市立中央図書館
TEL 0436（23）4946
http://www.library.ichihara.chiba.jp

市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画



子どもの読書活動を取り巻く諸情勢の変化を捉え、新たに取り組むべき施策を加えた「市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画（第四次計画）」を策定しました。



５年間の重点的な３つの取組

図書館で取り組む主な内容を紹介します。

中学生・高校生世代の読書離れ対策と読書習慣の形成

- それぞれの興味や経験等に応じた本を選べるように、中学生・高校生世代向け図書の充実に努めます。また、紙の本だけでなく、気軽に読書に親しめるよう電子書籍の導入を進めます。
- 中学生・高校生世代の興味を引くように、展示や本の並べ方に工夫をします。



家庭・地域・行政等の連携の強化

- 読書ボランティアの活動で必要となる知識や技術を習得するための研修会や講習会を開催します。



子どもの読書活動推進のための支援と読書に関する情報提供

- 新しい生活様式を踏まえインターネットを活用した事業や広報を実施します。



※計画全文は、市原市立図書館ウェブページでご覧いただけます。

夏休みの課題図書

課題図書コーナーを設置しています。
利用が集中するため、７月１日（木）から８月２９日（日）まで次のとおりとさせていただきます。
- ○　貸出・予約　１枚のカードで２冊まで
- ○　貸出期間　２週間（延長不可）



◎　第６７回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

小学校低学年の部

あなふさぎのジグモンタ　とみながまい／作
そのときがくるくる　すずきみえ／作
みずをくむプリンセス　スーザン・ヴァーデ／文
どこからきたの？おべんとう　鈴木まもる／作

小学校中学年の部

わたしたちのカメムシずかん：
やっかいものが宝ものになった話　鈴木海花／文
ゆりの木荘の子どもたち　富安陽子／作
ぼくのあいぼうはカモノハシ
ミヒャエル・エングラー／作
カラスのいいぶん：
人と生きることをえらんだ鳥　嶋田泰子／著

小学校高学年の部

エカシの森と子馬のポンコ　加藤多一／作
サンドイッチクラブ　長江優子／作
おいで、アラスカ！　アンナ・ウォルツ／作
オランウータンに会いたい　久世濃子／著

中学校の部

with you（ウィズ・ユー）　濱野京子／作
アーニャは、きっと来る
マイケル・モーパーゴ／作
牧野富太郎：日本植物学の父　清水洋美／著

高等学校の部

水を縫う　寺地はるな／著
兄の名は、ジェシカ　ジョン・ボイン／著
科学者になりたい君へ　佐藤勝彦／著

◎　第４５回千葉県読書感想文コンクール課題図書

小学校低学年の部

フルーツふれんずスイカちゃん　村上しいこ／作
おとうとのたからもの　小手鞠るい／作
まほうのほうせきばこ　吉富多美／作
とどけ、サルハシ！　葦原かも／作
しもやけぐま　今江祥智／文
みらいのえんそく　ジョン・ヘア／作

小学校中学年の部

わんこのハッピーごはん研究会　堀直子／作
透明犬メイ　辻貴司／作
アチチの小鬼　岡田淳／作
教室に幽霊がいる！？　藤重ヒカル／作
星空としょかんへようこそ　小手鞠るい／作
どう解く？ 答えのない道徳の問題
やまざきひろし／文

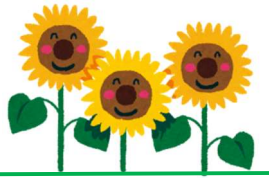
小学校高学年の部

完司さんの戦争　越智典子／文
感染爆発　見えざる敵＝ウイルスに挑む
デイビッド・ゲッツ／著
鐘を鳴らす子供たち　古内一絵／著
てっぺんの上　イノウエミホコ／著
アリババの猫がきいている　新藤悦子 ／作
気候危機！子どもたちが地球を救う　堤江実／著

中学校の部

たいせつな人へ　マイケル・モーパーゴ／作
万葉と令和をつなぐアキアカネ
山口 進／写真・文
卒業旅行　小手鞠るい／著
星空をつくる　プラネタリウム・クリエーター
大平貴之　楠章子／作
団地のコトリ　八束澄子／作
空ニ吸ハレシ15ノココロ　園田由紀子／著

夏休み 図書館活用術



今年も暑い夏が来ました!!夏休み期間（令和３年７月１７日～８月２９日）を図書館で有意義に過ごしてみませんか？

中央図書館の**閲覧席を利用したい**んだけど、
土日祝日のときみたく窓口での申請は必要？



はい、申請が必要です。
６人掛けテーブル席、社会人用席以外の閲覧席はすべて先着順（事前予約不可）での御利用となります。
■開館前の受付は、午前９時１５分から正面入口で行います。
■開館後の受付は、中央カウンターでお申し込みください。
※公民館・コミュニティセンターの閲覧席の利用については、各施設へ直接お問い合わせください。







夏休みの課題や自由研究…
何から手を付けたらいいか分からないよ～



そんなときは、図書館にお越しください！
自由研究や工作に関する本のコーナーを設けています。また、**読書感想文コンクールの課題図書（全国・千葉県）コーナー**も設置していますよ。
テーマに合う本が見つからないときは、職員がお手伝いしますので、お気軽に声をかけてくださいね。



夏休み期間中になにか**イベント**は開催されるの？





おはなし会が予定されています！
毎月第１、第３水曜日の**１５時**から開催しています。
夏休み期間中は、７月２１日（水）、８月４日（水）、８月１８日（水）に開催しますので、１５時までに児童室にお集まりください。



本のある毎日、図書館のある暮らし。　Vol.１７

原点に立ち戻る

司書は様々な分野の本を読んでいます。読み方には種類があり、小説をじっくりと読むこともあれば、図鑑をパラパラと見ること、ある部分だけ読むことなど色々です。

読書は好きですが、自分の興味がない分野や、難解な文章の本は読むことが苦痛になることもあります。仕事として読むのと趣味で読むことの違いは、「好きなものだけ読む」ことができないことだと思っています。

そんな中で、司書の資格を取るために勉強していた頃を思い出させてくれる本がありました。『本好きの下剋上　司書になるためには手段を選んでいられません』香月美夜／著（ＴＯブックス）です。本好きの現代人がファンタジー世界に生まれ変わる話です。その世界は識字率が低くて本は羊皮紙で作られていて、庶民は「本」という存在さえ知らない、そこで主人公は紙を作ることから本作りを始めて、最終的には自分の図書館を作ることを目標に頑張ります。主人公は自分の図書館を作る夢を語る時に、インドの図書館学者ランガナタンの五原則を口にします。

1　図書は利用するためのものである
2　いずれの読者にもすべて、その人の図書を
3　いずれの図書にもすべて、その読者を
4　図書館利用者の時間を節約せよ
5　図書館は成長する有機体である

これは、司書資格を取得する時の授業で必ず習う言葉です。

「本が大好き。自分の図書館を作るためになんでもする」という主人公を見て、わが身を振り返りこの夏は図書館学の本を読んで原点に立ち戻りたいと思います。

そして、疲れた時のリフレッシュ方法は、もちろん「読書」です。　（犬好き）

本と図書館に関する　今日は何の日　「７月２３日」

7 月 23 日は“ふみの日”にあたります。郵政省が 1979 年に制定した記念日です。趣旨は「手紙の楽しさ手紙を受取る嬉しさを通じて、文字活字文化を継承する一助となるように」

というもので、郵便物の利用促進が目的です。ICT 技術の発展によりビジネスでのやり取りはＥ-mail、私信は LINE 等の SNS の利用が増えました。自分の率直な気持ちを伝えるには SNS を使うより手紙等に一日の長があると思います。直筆で書かれた文字には、その人の人柄や相手方への気持ちが表れている気がします。

東野圭吾の 2 番目の小説「手紙」は映画化もされ、兄が強盗殺人を犯したことで差別に苦しむ主人公の姿を通して、加害者の家族を取り巻く社会の有様を真摯な視点で描いています。主人公に獄中から月に一度、兄からの贖罪や被害者への思いの詰まった手紙が届きます。その他、主人公の妻が主人公の会社の社長に送った「手紙」等がキーワードになった小説です。ぜひご一読頂きたい一冊です。

«中央図書館利用案内»

★開館時間　午前 9 時 30 分～午後 5 時
※水・金曜日は 1 階第 1 フロア・第 2 フロアのみ午後 7 時まで
ただし、祝日の場合は除く
※児童室・視聴覚コーナーは全日午後 5 時まで
★貸出冊数・貸出期間
図書・雑誌 10 冊まで
視聴覚資料 2 点までいずれも 2 週間

★休館日　毎週月曜日
毎月平日最終日（月末図書整理日）
特別整理期間（蔵書点検等）
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
★初めてカードを作るときは、住所氏名の確認できるもの（運転免許証等）をお持ちください。